

デンデンムシノカナシミ

むらさきの藤の花房が風に揺れている。薄くもりの空高くヒバリのさえずりは絶え間なく、ツバメが虫を追って自由に空を舞っていた。愛知県半田市は数々の童話を残した作家の新美南吉氏のふるさとです。記念館の事績をたどりました。

小学校の教科書で定番の「ごんぎつね」は18歳の時の一編。その後、現在の東京外国語大学に入り「手袋を買いに」などを執筆した。だが病を得て帰郷。女学校の教諭となるも30歳を目前に世を去りました。

命を削るようにして書いた珠玉の作品の中でも、人々の心を揺さぶってきたひとつが「デンデンムシノカナシミ」でしょう。「じぶんの殻の中には悲しみがいっぱい詰まっている」そう嘆くデンデンムシが「もう生きていけない」と次々仲間相談に行く。ところが相手から「私も同じ」と返され続けて気づく。「悲しみは誰にでもある。私は私の悲しみを堪えていかなければならない」。上皇后美智子様もこの話を幼少時に知り、折りに触れ思い起こされたといひます。誰かの悲しみを知ることで共感の橋が架けられる。南吉氏はそんな意味も込めたに違いない。

元号が令和となり、コロナ禍でもまもなく3年。力による現状変更の試みも加わり、「世界は変わった」と断じる識者もいます。だが、各地で生まれているカナシミに寄り添う気持ちは変わらず持ち続けたい。南吉氏の遺志でもあろう。



鎌野

戦争

世界がグローバル化して、世界中のどこかで起こったことが地球に住むすべての人に、即時に大きな影響をもたらす可能性がある世の中になってしまった。ロシアのウクライナ進行も、日本にとって対岸の火事とはとても言えない。こうなると、ロシアや中国が日本に攻め込んでくるのが無いなんて、とても断言できない。むしろ最悪のことを考えて、ことに備えるしかない。

そして、この様な状況になる前に、世界における独裁者や不正に目をつぶらずに、ことが大きくならぬうちに事前に片を付けておかないと、プーチンの様な人が再び出てきて、核ミサイルの発射装置を持ち歩き、人々に脅威をもたらすこととなるということを、肝に命じたい。

今回、プーチンが本当に病気で、自分の人生があと少ししかないと感じた時、自分の死んだ後の世界なんてどうでもいいや！と考え、核ミサイル発射のボタンを押すという可能性は否定できない。人類・地球全体の、有史以来の最大のピンチに我々は遭遇しているのだ。戦争は、人間の良いところも悪いところも、如実に見せてくれる。

英樹



配り

第 275 便

勝亦製材駿河鉄骨組

住まい塾御殿場教室
TEL (0550) 87-0048
FAX (0550) 87-1237
〒412-0035 御殿場市中山518番地

風花や顔のテツペン触れ解けて

ふと見渡せば新芽の膨らみ

ねがみともみ



年重ね白髪も顔もよく母に

似て来たなあと孫との写真に

林なをみ



昨夜の雪うつすら冠る愛鷹山に

せんぶりの花初見きは昔

勝亦りつ子



GW の過ごし方

諸説あるそうですが「ゴールデンウィーク」は、昭和 26 年、現在のゴールデンウィークにあたる期間に上映された映画『自由学校』が正月やお盆興行よりヒットしたのを期に、多くの人に映画を観てもらおうと、当時の大映専務、松山英夫氏が作った和製英語だそう。

「ゴールデンウィーク」という呼称の由来は、ラジオで最も聴取率の高い時間帯「ゴールデンタイム」に習ったもので、当初は「黄金週間」と言われていたが、インパクトに欠けることから「ゴールデンウィーク」となったようです。その他の語源には、4 月末から 5 月初旬にかけ、ロッキー山脈の雪解け水で砂金が沢山採れたため、その時期は金鉱探しに人々が流れ、街が休日状態になってしまったことから付けられたとする説や『東方見聞録』の中で、日本を「黄金の国ジパング」と紹介したマルコ・ポーロが、日本に来日したのが 5 月初めであったことから、「ゴールデンウィーク」と名付けられたなどの説もあるそうです。今年は観たい映画がありますが、まだ人混みに入るのは少しばかり躊躇われるので映画はもう少し我慢しておこう。

さて、由来はさておき、僕は毎年この時期には、富士山の雪解け水が集まって、一年にうちに数日のみ現われる「幻の滝」を目当てに須走口五合目へと向かうのです。五合目の駐車場から南へと進み、まだ雪の残る北斜面を超えて、成就ヶ沢と呼ばれる谷へ。幾度となく繰り返した富士山の噴火が作った沢、ここに雪解け水が川となり、いくつかの滝を形作るのです。地球の営みを、溶岩の流れを目の当たりに出来るちょっとしたハイキングコースです。興味のある方は足を運んでみてはいかがでしょうか。ちなみに気温が上がる午後にはか滝は現われませんので、お弁当を持ってゆっくり出発するのが良いかもしれませんね。肌寒いので防寒着を忘れずに。



柳田 敏和

千と千尋

近くの書店には、ジブリの発行するフリー冊子『熱風』は置いていないので、送料を払って手元に届く様になっています。アニメ雑誌ではなく、小さい字がびっしりと時事的なこと、対談などが主でしょうか。今月号は舞台が始まった？『千と千尋の神隠し』について。アニメ映画で湯婆婆の声を務めた“夏木マリ”さんなどが寄稿しています。映画『千と千尋の神隠し』は 2001 年（H13 年）21 年前の作品です。主役、千尋の声の柊瑠美さんとハクの声の入野自由さんも寄稿していました。この二人、当時は中学 1 年又は小学校 6 年生。ハクの声は声変わりの時とは、少し驚きです。その二人の共通の言葉は、当時は子供だったので、役が決まった時は、ただただ嬉しくて、一生懸命で。その後、いろいろな人に千と千尋の声優さんよね。と、自分の前に『千と千尋の』がついて、年頃もあるだろうが嫌だった時期があった。歳を重ねて、自分もいろいろ経験を重ねていくと、重荷だった『千と千尋』がいろいろな面でありがたく、感謝していると。今、作品を客観的に観ることができるようになり、立場的に千尋ではなく、リンや釜爺の目線で観ている場合がありとても奥深い作品だとわかります。と寄稿しています。若い頃（いつが若いかわかりません）すごく嫌だったことが年を経て自分の人生に役に立っていることってあるよなあ。と思い出しました。なんでもやってみることは肝心です。その時は凄く辛いけど。そういえば、小学校か中学校のとき、推薦図書で『星の王子さま』サンテグジュペリ著。を読んで、「面白くないんですけど」。と思ったが、もう一度読んでみようか……。本棚にあるし。



ねがみ

新学期

新年度より入社しました、勝亦立樹（かつまたたつき）です。この度、大学を卒業し、勝亦製材駿河鉄骨株式会社で働かせていただくこととなりました。

4 月 1 日より働かせていただいておりますが、自分が知らないこと、知らないもの、知らない人などさまざまな新しい体験をさせていただいております。このような新しい体験を吸収し、社会人として成長していけるように頑張っていきますので、これからよろしくお願いたします。

まだまだわからないことばかりで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、いろいろな仕事を経験して一日でも早く戦力になれるよう頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



立樹